

「地球温暖化政策の推進と京都議定書の早期批准・発効を求める意見書」

気候変動が予想を超える速度で進行しており、地球温暖化がますます危ぶまれます。地球規模で温室効果ガス削減の対策をとり、将来世代の安全を確保することは、私たち世代の責務です。地球温暖化を防止する国際的な取り組みである京都議定書について、米国のブッシュ政権が「離脱」を表明し、議定書を無効とする発言を繰り返しています。このことは、国際的な取り組みを危うくするものであり、きわめて遺憾です。

日本は京都議定書を採択したCOP3の議長国として、国際交渉の場でリーダーシップの発揮を期待される特別な立場にあり、世界に先駆けて、国内の温室効果ガス排出を回り、京都議定書の国際的公約を果たさなければなりません。

よって、江戸川区議会は、政府に対し、下記の事項について強く要望します。

記

1. 国内の地球温暖化防止政策を強力に進め、7月にボンで再開されるCOP6に際しては、京都議定書のルールの合意を図ること。
2. 4月の衆参両院の決議に基づき日本が早期に率先して批准し、京都議定書の一刻も早い発効を実現すること。

以上